

東洋羽毛工業(株)CS推進部課長	佃 光明 様
蔭山(株)商品開発・品質管理担当部長	小島 祥栄 様
日本ふとん製造協同組合専務理事	只野 悟 様*欠席
ダイワボウ・ノイ(株)ライフスタイル部長	巽 哲一 様*欠席
(株)エビス営業部	米山 幸平 様
(一財)ボーケン品質評価機構開発部課長	坂井 史治 様
西川リビング(株)法務室長	吉兼 令晴 様 (業種別委員長) *欠席
(一社)日本寝具寝装品協会専務理事	奥谷 孝良 事務局： 中村 富夫

JBA 第4期業種別委員会：第四回ふとん部会 議事録

1. 開催日時 平成29年10月24日(火) 13:30~15:30
2. 開催場所 JBA：(一社)日本寝具寝装品協会 日本橋小舟町事務所内
東京都中央区日本橋小舟町7-2 小舟町243ビル7F ☎ 03-6661-0213
3. 議題(1) 各種評価試験データについて
ドレープ性(摩擦抵抗値・カンチレバー法) 吸放湿性 他
- (2) 掛けふとん類の評価マトリックス表の再確認
- (3) その他

議事録

議題(1)

小島委員：ダイワボウノイ巽委員ご協力の、羽毛生地8種摩擦抵抗値試験データを説明。
ドレープ性(肌触り)で考えたので当試験となったが、KES試験等に詳しい久保部長見解では、柔らかさソフト性を見るならKES項目の中ではせん断、曲げ特性試験を試してみる必要があるとのことであった。(資料有り)

奥谷専務：ソフト性見極めの為、ダイワボウノイにせん断、曲げ試験を依頼するのがよい。

坂井委員：吸・放湿性データをグラフにて説明。公定水分率が決まっていれば今後の試験必要なしと思う。

カンチレバー方式データの硬さ、柔らかさは想定通りであった。(資料有り)

議題(2)

奥谷専務：第2回会議でのマトリックス表に入れ込み総合的に判断評価してみる。

佃部会長：吸・放湿性がふとん機能でみると、優位度はドレープ性より上ではないか。

奥谷専務：暑がり屋には吸・放湿性の高い表記のふとんがお奨めですという、消費者目線表記がベターである。

佃部会長：総合評価10点、8点でなく、3項目位で各項目評価点表記が判りやすすくないか。

小島委員：生地評価は、ドレープ性、吸・放湿性・軽さの3点評価でよい。

佃部会長：詰めもの羽毛はDPと重量での掛け合わせで保温性評価表記がよい。

坂井委員：ダブルサイズだと重量が多くなり、それなりの計算表記が必要ではないか。

佃部会長：羽毛の他に羊毛、PE等もあり、まずはSサイズベースでの評価から始めたい。

坂井委員：合織わた 3 種の比容積、圧縮率、回復率試験データを説明する。（資料有り）

奥谷専務：スパイラルタイプとレギュラータイプでは、比容積での差は一目である。

小島委員：合織わたは羽毛の立体キルトでなく、通常キルトであり一律データになりそう。

米山委員：合織わたの防ダニ等の機能はどうするのか。

佃部会長：別項記載がよいのではないか。

小島委員：合織わたの比容積値と羽毛の D P 値での保温性値を比べる必要があるのではないか。

佃部会長：合織ふとんと羽毛ふとんのクロー値は歴然であり、比較データは多く存在する。

奥谷専務：J I S 保温性クロー値試験を羽毛 2 種、合織わた 3 種で坂井課長にお願いする。

羽毛は 生地は綿 60 か 80 サテン 詰めものは D p 410 以上 と 350 とする。

合織は 生地は綿 200 本平織 詰めものは中実、中空立体、中空 とする。

A S T M 法で製品にて、ボーケン品質評価機構で試験するのがよい。

そのデータもとに 5 段階レベルを計り、マトリックス表を坂井課長と事前作成してみることにする。

議題 (3)

佃部会長：次回開催日は 11 月 15 日でなく、11 月 14 日午後 3 時 30 分～5 時 30 分までを予定し、全体的なふとんの生地と詰めもののマトリックス表を協議する。

以上